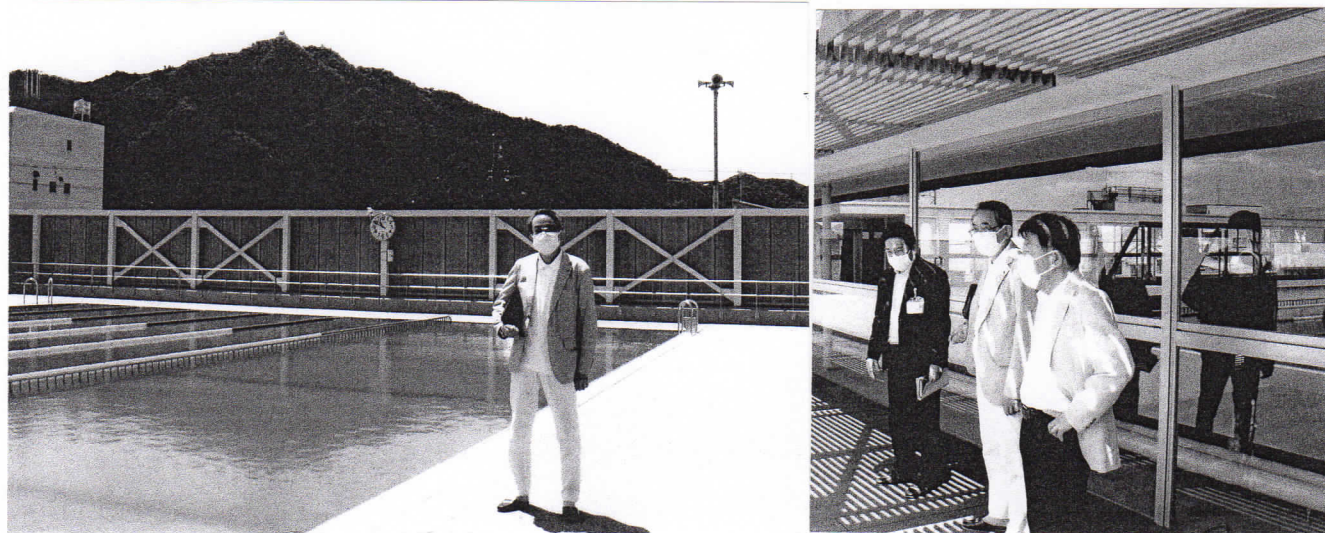




# 泳げるよ！ 今年の夏 長良小プール

## 無所属クラブ視察 長良小プール・公民館・旧いとう旅館



左写真 松原のりかず 右写真 田中議員（右から1人目） 写真撮影 服部議員

5月27日、市議会無所属クラブは長良小学校のプールと合築の公民館、さらに旧いとう旅館を視察。旧いとう旅館については、多くの課題を感じたところです。長良小のプール建設については、今年の夏、子ども達のにぎやかな声を想像できる、すてきな出来栄え。改めて、3年も建設が遅れた経過を、以下、本紙2021年3月1号より報告し、岐阜市の教育行政の課題を問題提起したいと思います。

## 無所属ク議案精読 冒頭40分激論

### 長良小プール建設経過は「見解の相違」前教育長

21年3月5日、無所属クラブの3月議会当初予算議案精読会で教育委員会議案の説明会が開会された。はじめに、20年の11月議会で「長良小学校プール建設削減議案が修正された」後の「建設へ向けての経過説明」が事務局長（当時）から行われた。が、

### 無ク指摘 行政混乱させた責任、誰にある？

「黙して語らず」の教育長（当時）に対し、田中無所属クラブ代表（当時）から「当初予算が入札不調後に迅速に再入札していれば、税金を浪費せず、プール建設を2年（後3年になった）も遅れさせる混乱を生じなかった。建設費削減予算の修正など議会全体

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

を巻き込んだ混乱の原因は、明らかに教育長（当時）にあると考えるが、今日の議案説明に入る前に教育長（当時）の謝罪から入るべきではないか」と指摘。

対し、「教育委員会は、まちがっていたとは、今も考えていない」「議会判断とは見解の相違」「二元代表制の結果で（建設する事になっただけ）」「（入札不調後の住民説明会は）民間プール活用など子どもの泳力教育を考えた行動」と強弁。「教育委員会は間違っていないので、謝罪の必要ない」との早川教育長（当時）の態度。

## 教育委員会と教育長の **使い分け** 明確必要

早川教育長（当時）は、入札不調後にプール建設方針を変更する説明を、他の教育委員（当時）へ行う時「この決定は、議会決定に反する決定になります。」と説明していない。以前から文教委員会で「十分説明した」と答弁していない。曰く、未成熟な説明中で「他の教育委員の承認をとったかの経過を利用して」「教育委員会のプール否建設決定」を導き出した。明かに混乱は早川教育長（当時）の主導である。彼の責任回避姿勢が目につく。

議会説明も無いまま、住民説明会は8回開催。議案（削減）提案前に、既成事実の積み上げが推進された。驚く事に、教育現場では「プールがあったほうが良いか」「無くても良いか」と小学生を2グループに分けて討論させている。早川教育長（当時）の方針推進の道具に「子どもの討論を利用」という悪手を教育者が行っている事に、その後も彼に反省の色は無いようだ。

早川教育長（当時）が正しいなら、

## 議会は「間違っていたのか」？ **松原のりかず**

「教育長（当時）が正しい」なら「議会の議決（プール建設の）が間違いだと、主張されるのか？」松原のりかずが指摘。・・・さすがに、彼（早川氏）の反論が無い。

当初予算が可決されたが、入札不調。不調後に、民間プール活用や、建設の是非論、を持ち出している。議会説明も無いまま住民説明会だけは8回も開催し、既成事実を積み上げて、「以前からのまじめな議論」と宣伝する。必要な議論なら当初予算提案前に行なうべきである。

「今日も、当初予算の説明をされる」が、これも「教育長（早川氏）の気が変わったら」「ある日、変更されるのか」「そんな議案の質疑を議員は行うのか？」と指摘したら、ようやく、早川教育長（当時）は謝罪（座ったまま）された。

**プールの建設の決議は、全会一致で可決され、事実上の教育長不信任。**

**その後、早川教育長は、任期途中で辞任。水川現教育長の誕生に。**



松原のりかず  
☎058-253-2500